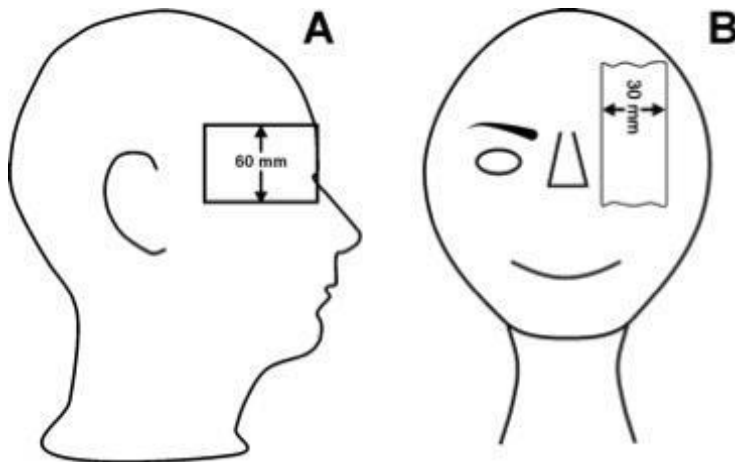


G T R	旧	新
		定義と略号の後、6.1 通則の前に別紙 1 を挿入
		6.2.2.2 a) 銃ケースなどから出された全ての銃は、選手の射座入り前、射座から離れる時、競技終了後、射線より前に作業員が出なければならない時にはセフティフラッグが挿入されていないなければならない。ファイナルにおいては、準備および試射時間が始まるまでセフティフラッグを抜くことできない。 を挿入、以下順次アルファベットを変更
		6.3.3.2 文末に以下を挿入 10mエアライフルミックスチーム種目では本選は小数値で採点されなければならない。
6.3.3.3	ライフルとピストルのファイナルは、このルールに書かれている小数採点に基づくヒットゾーンヒットミススコアが使用される25mピストル種目のファイナルを除き、小数値で採点される。	6.3.3.3 ライフルとピストルのファイナルおよびライフルミックスチームの本選とファイナルおよびピストルのミックスチームのファイナルは、このルールに書かれている小数採点に基づくヒットゾーンのヒットミススコアが使用される25mピストル種目のファイナルを除き、小数値で採点される。
		6.4.7.2 a) 文末に以下を挿入 ライフル選手はその高さを変えるために卓上にいかなる道具や物を置くことはできない。
6.6.3.2	競技前練習 (PET) 競技前練習は各種目の予選または本選の競技実施前日に行われなければならない。ライフル、ピストル種目については、各選手が自分の競技する射座で1射群あたり40分以上(ラピッドファイアピストルにおいては1射群あたり30分以上)の練習がその種目の競技実施前日にできなければならない。この練習時間は公式練習に追加されるものである。	6.6.3.2 競技前練習 (PET) 競技前練習は各個人種目の予選または本選の競技実施前日に行われなければならない。もし、ミックスチーム種目が同様の個人種目の後に続いてある場合、競技実施予定に空き時間があるときには、射座を指定しない形式での 競技前練習を予定することができる 。ライフル、ピストルの 個人種目 については、各選手が自分の競技する射座で1射群あたり40分以上(ラピッドファイアピストルにおいては1射群あたり30分以上)の練習がその種目の競技実施前日にできなければならない。この練習時間は公式練習に追加されるものである。

6.7.4.3 減音装置（聴覚保護）のみ使用できる。ラジオ、iPods、または似たようなタイプの音響発生または通信装置の使用は、競技役員を除き、競技中および練習中も禁止される。

6.7.5 **ISSFドレスコード**
公式スポーツ行事に適したマナーに則った服装で射場に現れることは選手、コーチおよび役員の責任である。選手と役員の服装はISSFドレスコードを遵守しなければならない。6.19のISSFドレスコード全文を参照すること。

6.7.8.1 帽子、キャップ、眼鏡枠またはヘッドバンドに取り付ける**サイドブラインダー**（片側または両側）は高さ60mmを超えないものの使用がショットガンの選手に限り許される（A）。サイドブラインダーの前端は、横から見たときに、額の中心から伸ばされる直線を超えて前方に延びてはならない。

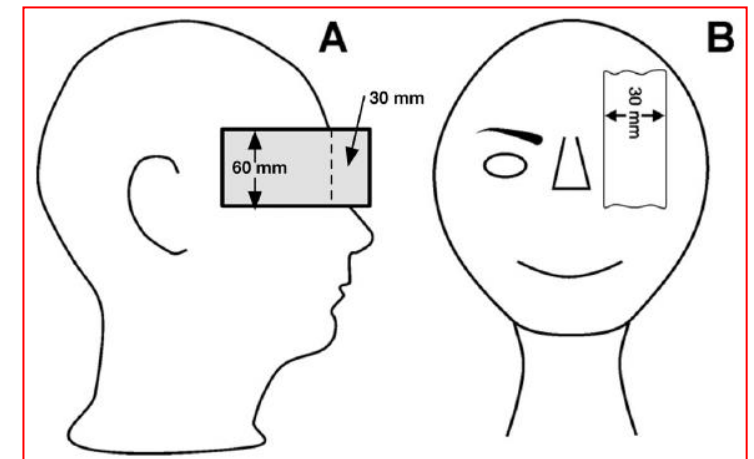


6.7.4.3 ラジオ、iPods、または似たようなタイプの音響発生または通信装置の使用は、競技役員を除き、**FOP**では競技中および練習中も禁止される。

※日ラ注： 耳の保護に関しては6.2.5に記述あり

6.7.5 **ISSFドレスコード**
公式スポーツ行事に適したマナーに則った服装で射場に現れることは選手、コーチおよび役員の責任である。選手と役員の服装はISSFドレスコードを遵守しなければならない。6.20のISSFドレスコード全文を参照すること。

6.7.8.1 帽子、キャップ、眼鏡枠またはヘッドバンドに取り付ける**サイドブラインダー**（片側または両側）は高さ60mmを超えないものの使用がショットガンの選手に限り許される（A）。サイドブラインダーの前端は、横から見たときに、額の中心から伸ばされる直線**より30mm**を超えて前方に延びてはならない。



6.11.1.1 **f) 文末に以下を挿入** ファイナルでは、選手は準備および試験時間が始まるまではセフティフラッグを外したり、空撃ちをすることはできない。

6.11.8

競技会の特別ルール

- a) すべての大会において、準備および試射時間中にその種目に関する情報を観客に伝えるためにアナウンスおよび/または映像を使うことができる。準備および試射時間中、予選、本選の競技中およびファイナルの競技中に音楽を流すことができる。

6.12.6.1

明白なおよび隠蔽された反則の裁定

ジュリーは次の基準に従って反則の裁定をしなければならない。

- a) 明白なルール違反の場合、最初に、選手が違反を修正する機会を持つことができるように、警告（イエローカード）が与えられなければならない。可能な限り、警告は練習時か準備および試射時間中に与えるべきである。選手がジュリーの規定した時間内に違反を修正しない場合、得点からの2点の減点が科せられなければならない。なおも選手が違反を修正しなかった場合には、失格が科せられなければならない。

6.13.3

銃または弾薬に故障が生じた場合、選手は修理して射撃を継続することができるが、その故障が許容できる故障の場合、ルールに従い同じタイプの同じ口径の別の銃で射撃を継続することもできる。交換したライフルは指名検査の対象となる。

6.14.4

- i) I S S F基準の種目順に並べられた最終成績表：1) すべてのライフルおよびピストルの10m種目、2) すべての25mピストル種目、3) すべてのライフルおよびピストルの50m種目、4) すべての300mライフル種目、5) すべてのトラップ種目、6) すべてのダブルトラップ種目、7) すべてのスキート種目、8) すべてのランニングターゲット10m種目、9) すべてのランニングターゲット50m種目

6.11.8

競技会の特別ルール

- a) すべての大会において、準備および試射時間中にその種目に関する情報を観客に伝えるためにアナウンスおよび/または映像を使うことができる。準備および試射時間中、予選、本選の競技中に、音楽を流すことができる。ファイナルの競技中には音楽を流さなければならない(6.17.1.11)。

6.12.6.1

明白なおよび隠蔽された反則の裁定

ジュリーは次の基準に従って反則の裁定をしなければならない。

- a) 明白なルール違反の場合、最初に、選手が違反を修正する機会を持つことができるように、警告（イエローカード）が与えられなければならない。可能な限り、警告は練習時か準備および試射時間中に与えるべきである。選手がジュリーの規定した時間内に違反を修正しない場合、得点からの2点の減点が科せられなければならない。減点（グリーンカード）を受けてなおも選手が違反を修正しなかった場合には、失格（レッドカード）（DSQ）が科せられなければならない。

6.13.3

銃または弾薬に故障が生じた場合、選手は修理して射撃を継続することができるが、その故障が許容できる故障の場合、ルールに従い同じタイプの同じ口径の別の銃で射撃を継続することもできる。交換した銃は指名検査の対象となる。

6.14.4

- i) I S S F基準の種目順に並べられた最終成績表：1) 男子の10m、50m、300mライフル種目、2) 男子の10m、25m、50mピストル種目、3) 男子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、4) 男子の10m、50mランニングターゲット種目、5) 女子の10m、50m、300mライフル種目、6) 女子の10m、25mピストル種目、7) 女子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、8) 女子の10mランニングターゲット種目

6.15.5 **団体競技の同点**
団体競技の同点の順位決定はチーム全員の結果を合計して、個人競技の同点の順位決定の手順を適用し決められなければならない。

6.16.3 **書面抗議（リトゥン プロテスト）**
選手またはチーム役員は、**口頭抗議**に対する処置や裁定に**同意**できない場合、 Jury に書面をもって抗議することができる。選手またはチーム役員には口頭抗議をすることなく**書面抗議**を行う権利も持つ。すべての書面抗議はその問題が起きてから20分以内に適切な Jury に提出されなければならない。抗議料の支払義務は発生する。書面抗議および上訴は **ISSF 抗議用紙**（様式 6.18 参照）で提出されなければならない。

6.17.1.9 **ファイナル射場の備品** ファイナル射場にはファイナリストが見ることのできる LCD スコアボードシステムとカウントダウン時計および音響システムが設備されてなければならない。もしカウントダウン時計をすべてのファイナリストが見ることができなければ、全ファイナリストのモニターに制御時間が明示されなければならない。 Jury 、射場役員、コーチと脱落した選手のために椅子が用意されていなければならない。

6.17.1.13 **ファイナルの手順とルール**
f) 射場長の“LOAD（ロード）”の号令のあるまで、ファイナリストはライフルやピストルに弾を装填することは許されない。弾の装填とは弾、空気銃弾または弾の入った弾倉を銃に接触させることをいう（6.2.3.4 参照）。

6.15.5 **団体競技の同点**
団体競技の同点の順位決定は、**ミックスチーム種目の本選における同点の場合を含めて**、チーム全員の結果を合計して、個人競技の同点の順位決定の手順を適用し決められなければならない。

6.16.3 **書面抗議（リトゥン プロテスト）**
選手またはチーム役員は、**口頭抗議**に対する処置や裁定に**同意**できない場合、 Jury に書面をもって抗議することができる。選手またはチーム役員には口頭抗議をすることなく**書面抗議**を行う権利も持つ。すべての書面抗議はその問題が起きてから20分以内に適切な Jury に提出されなければならない。抗議料の支払義務は発生する。書面抗議および上訴は **ISSF 抗議用紙**（様式 6.19 参照）で提出されなければならない。

6.17.1.9 **ファイナル射場の備品** ファイナル射場には**競技役員、選手、コーチ、観客のために結果順位が表示される電光掲示板とファイナリストの見ることのできる**カウントダウン時計および音響システムが設備されてなければならない。もしカウントダウン時計をすべてのファイナリストが見ることができなければ、全ファイナリストのモニターに制御時間が明示されなければならない。 Jury 、射場役員、コーチと脱落した選手のために椅子が用意されていなければならない。

6.17.1.13 **ファイナルの手順とルール**
f) 射場長の“LOAD（ロード）”**または“START（スタート）”**の号令のあるまで、ファイナリストはライフルやピストルに弾を装填することは許されない。**これは“LOAD（ロード）”の号令が無い準備および試射時間において、“START（スタート）”が装填の許可をも示すようにさせるためである。**弾の装填とは弾、空気銃弾または弾の入った弾倉を銃に接触させることをいう（6.2.3.4 参照）。

h) 10mまたは50m種目のファイナルでファイナリストが“PREPARATION AND SIGHTING TIME START (プレパレーション アンド サイティング タイム スタート)”の号令の前、または“FOR THE SIGHTING SERIES LOAD (フォー ザ サイティング シリーズ ロード)”の号令の前に弾を装填したり、発射した場合、そのファイナリストは失格とされなければならない。

h) 10m、25mまたは50m種目のファイナルでファイナリストが“PREPARATION AND SIGHTING TIME START (プレパレーション アンド サイティング タイム スタート)”の号令の前、または“FOR THE SIGHTING SERIES LOAD (フォー ザ サイティング シリーズ ロード)”の号令の前に弾を装填したり、発射した場合、そのファイナリストは失格とされなければならない。

6.17.2 ファイナルー10mエアライフル、エアピストル男子、女子、50mピストル男子、50mライフル伏射男子

6.17.2 ファイナルー10mエアライフルとエアピストルの男子および女子

a) ファイナルの様式	ファイナルは制限時間250秒で行われる5発の本射シリーズ2回(50mライフル伏射の場合は制限時間150秒)(5+5発)とそれに続く、号令によって進行される制限時間50秒(50mライフル伏射は30秒)の14発の本射によって構成される。最下位ファイナリストの脱落は12発目のあとから開始され、2発の本射が終わるごとに行われ、金および銀メダリストが決まるまで続けられる。ファイナルの本射は合計24発となる。
----------------	--

a) ファイナルの様式	ファイナルは制限時間250秒で行われる5発の本射シリーズ2回(5+5発)とそれに続く、号令によって進行される制限時間50秒の14発の本射によって構成される。最下位ファイナリストの脱落は12発目のあとから開始され、2発の本射が終わるごとに行われ、金および銀メダリストが決まるまで続けられる。ファイナルの本射は合計24発となる。
----------------	--

g) 第一ステージ 2×5発 制限時間： 250秒 (伏射は 150秒) 各シリーズ	射場長は“FOR THE FIRST COMPETITION SERIES... LOAD (フォー ザ ファースト コンペティション シリーズ ロード)”と号令をかける。5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。ファイナリストは250秒(伏射は150秒)で5発を撃つ。250秒後(伏射は150秒後)または全ファイナリストが5発を撃ち終えたら、射場長は“STOP (ストップ)”と号令をかける。
---	--

g) 第一ステージ 2×5発 制限時間： 250秒 各シリーズ	射場長は“FOR THE FIRST COMPETITION SERIES... LOAD (フォー ザ ファースト コンペティション シリーズ ロード)”と号令をかける。5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。ファイナリストは250秒で5発を撃つ。250秒後または全ファイナリストが5発を撃ち終えたら、射場長は“STOP (ストップ)”と号令をかける。
--	---

	<p>“STOP (ストップ)”の号令の直後、アナウンサーは15～20秒で、現在の選手の順位と特筆すべき成績についてコメントする。個々の得点はアナウンスしない。</p> <p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は “FOR THE NEXT COMPETITION SERIES... LOAD (フォー ザ ネクスト コンペティション シリーズ ロード)”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。</p> <p>250秒後(伏射は150秒後)または全ファイナリストが5発を撃ち終えたら、射場長は“STOP (ストップ)”と号令をかける。</p> <p>アナウンサーは再び選手とその成績についてコメントをし、この後1発ずつのステージに変わり、2発ごとに最下位のファイナリストが脱落していくことを説明する。</p>
--	---

	<p>“STOP (ストップ)”の号令の直後、アナウンサーは15～20秒で、現在の選手の順位と特筆すべき成績についてコメントする。個々の得点はアナウンスしない。</p> <p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は “FOR THE NEXT COMPETITION SERIES... LOAD (フォー ザ ネクスト コンペティション シリーズ ロード)”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。</p> <p>250秒後または全ファイナリストが5発を撃ち終えたら、射場長は“STOP (ストップ)”と号令をかける。</p> <p>アナウンサーは再び選手とその成績についてコメントをし、この後1発ずつのステージに変わり、2発ごとに最下位のファイナリストが脱落していくことを説明する。</p>
--	---

<p>h) 第二ステージ 単発 14×1発 制限時間： 50秒 (伏射は30秒) 各1発</p>	<p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は “FOR THE NEXT COMPETITION SHOT... LOAD (フォー ザ ネクスト コンペティション ショット ロード)”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。</p> <p>各1発の制限時間は50秒(伏射は30秒)。</p>
--	--

<p>h) 第二ステージ 単発 14×1発 制限時間： 50秒 各1発</p>	<p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は “FOR THE NEXT COMPETITION SHOT... LOAD (フォー ザ ネクスト コンペティション ショット ロード)”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START (スタート)”の号令をかける。</p> <p>各1発の制限時間は50秒。</p>
---	--

	<p>50秒（伏射は30秒）後、射場長は“STOP（ストップ）”と号令をかけ、アナウンサーはファイナリストとその得点についてコメントする。</p> <p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は“FOR THE NEXT COMPETITION SHOT... LOAD（フォーザネクストコンペティションショットロード）”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START（スタート）”の号令をかける。</p> <p>この手順を第二十四発目（2回の5発シリーズと14発）まで繰り返す。</p> <p>第二十四発目が終了したら、射場長は“STOP... UNLOAD（ストップアンロード）”と号令をかける。</p> <p>射場役員は銃の薬室が開けられセフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。</p>
--	---

	<p>50秒後または全ファイナリストが撃発後、射場長は“STOP（ストップ）”と号令をかけ、アナウンサーはファイナリストとその得点についてコメントする。</p> <p>アナウンサーのコメントが終了しだい射場長は“FOR THE NEXT COMPETITION SHOT... LOAD（フォーザネクストコンペティションショットロード）”と号令をかける。</p> <p>5秒後、射場長は“START（スタート）”の号令をかける。</p> <p>この手順を第二十四発目（2回の5発シリーズと14発）まで繰り返す。</p> <p>第二十四発目が終了したら、射場長は“STOP... UNLOAD（ストップアンロード）”と号令をかける。</p> <p>射場役員は銃の薬室が開けられセフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。</p>
--	--

<p>k) ファイナルの終了</p>	<p>残った2名のファイナリストが第二十四発目を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“RESULTS ARE FINAL（リザルツアーファイナル）”と宣言する。</p> <p>ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。</p>
------------------------	--

<p>k) ファイナルの完了</p>	<p>残った2名のファイナリストが第二十四発目を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“STOP... UNLOAD（ストップ...アンロード）”と号令し、そして“RESULTS ARE FINAL（リザルツアーファイナル）”と宣言する。</p> <p>ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。</p>
------------------------	---

6.17.3 ファイナルー50mライフル三姿勢男子および女子

m) ファイナルの 終了	残った2名のファイナリストが最終弾を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“ RESULTS ARE FINAL (リザルツ アー ファイナル)”と宣言する。 ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。
--------------------	--

6.17.3 ファイナルー50mライフル三姿勢男子および女子

m) ファイナルの 完了	残った2名のファイナリストが最終弾を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“ STOP... UNLOAD (ストップ... アンロード)”と号令し、そして“ RESULTS ARE FINAL (リザルツ アー ファイナル)”と宣言する。 ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。
--------------------	--

6.17.4 ファイナルー25mラピッドファイアピストル男子

j) ファイナルの 完了	2名の残ったファイナリストが第8シリーズを撃ち終わった後、同点や抗議がなければ、射場長は“ RESULTS ARE FINAL (リザルツ アー ファイナル)”と宣言する。 ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。 ファイナリストやコーチが射撃線からピストルを動かす前に、射場役員は薬室が開放され、セフティフラッグが挿入され、弾倉がはずされ、弾倉からも抜弾されていることを確認するためにピストルをチェックしなければならない。ピストルは射撃線から去る前にケースに収納されていなければならない。
--------------------	--

6.17.4 ファイナルー25mラピッドファイアピストル男子

j) ファイナルの完了	2名の残ったファイナリストが第8シリーズを撃ち終わった後、同点や抗議がなければ、射場長は“ STOP... UNLOAD (ストップ... アンロード)”と号令し、そして“ RESULTS ARE FINAL (リザルツ アー ファイナル)”と宣言する。 ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。 ファイナリストやコーチが射撃線からピストルを動かす前に、射場役員は薬室が開放され、セフティフラッグが挿入され、弾倉がはずされ、弾倉からも抜弾されていることを確認するためにピストルをチェックしなければならない。ピストルは射撃線から去る前にケースに収納されていなければならない。
----------------	--

6.17.5 ファイナルー 25mピストル女子

<p>g) 号令と射撃の詳細手順</p>	<p>選手の紹介の直後、射場長は“TAKE YOUR POSITIONS (テイク ユア ポジションズ)”の号令をかける。</p> <p>15秒後、最初の本射シリーズが開始される。射場長は“LOAD (ロード)”の号令をかける。選手は1分間で2つの弾倉に装填する(8.7.6.2. dはファイナルでは適用されない)。</p> <p>本射第1シリーズの開始前に1回だけ“LOAD (ロード)”の号令がかけられる。ファイナル全体を通じて、選手は必要に応じて弾倉に装填を行うことができる。</p> <p>“LOAD (ロード)”の号令の1分後、射場長は“FIRST SERIES... READY (ファースト シリーズ... レディー)”と号令をかけ、選手はピストルに弾倉を入れ、射撃の準備をする。</p> <p>“READY (レディー)”の号令の15秒後、射場長は“ATTENTION (アテンション)”の号令をかけ、赤色ランプが点灯する。選手はレディーポジション(8.7.2)を取らなければならない。7秒後、速射シリーズ開始の合図として最初の3秒間緑ランプが点灯する。7秒後に赤色ランプが点灯する。シリーズ終了後、射場長は“STOP (ストップ)”の号令をかける。</p> <p>“STOP (ストップ)”の号令後、アナウンサーはファイナリストの順位と成績をコメントする。</p>
--------------------------	--

6.17.5 ファイナルー 25mピストル女子

<p>g) 号令と射撃の詳細手順</p>	<p>選手の紹介の直後、射場長は“TAKE YOUR POSITIONS (テイク ユア ポジションズ)”の号令をかける。</p> <p>15秒後、最初の本射シリーズが開始される。射場長は“LOAD (ロード)”の号令をかける。選手は1分間で2つの弾倉に装填する(8.7.6.2. dはファイナルでは適用されない)。</p> <p>本射第1シリーズの開始前に1回だけ“LOAD (ロード)”の号令がかけられる。ファイナル全体を通じて、選手は必要に応じて弾倉に装填を行うことができる。</p> <p>“LOAD (ロード)”の号令の1分後、射場長は“FIRST SERIES... READY (ファースト シリーズ... レディー)”と号令をかけ、選手はピストルに弾倉を入れ、射撃の準備をする。</p> <p>“READY (レディー)”の号令の15秒後、射場長は“ATTENTION (アテンション)”の号令をかけ、赤色ランプが点灯する。選手はレディーポジション(8.7.2)を取らなければならない。7秒後、速射シリーズ開始の合図として最初の3秒間緑ランプが点灯する。7秒後に赤色ランプが点灯する。シリーズ終了後、射場長は“STOP (ストップ)”の号令をかける。</p> <p>“STOP (ストップ)”の号令後、アナウンサーはファイナリストの順位と成績をコメントする。</p>
--------------------------	--

	<p>アナウンス終了15秒後に、射場長は“NEXT SERIES... READY (ネクスト シリーズ... レディー)”と号令をかける。15秒後、射場長は“ATTENTION (アテンション)”の号令をかける。</p> <p>この手順をすべてのファイナリストが4シリーズを撃ち終えるまで続ける。</p> <p>第4シリーズ終了後そして8位に同点がなければ、射場長は“STOP... UNLOAD (ストップ アンロード)”の号令をかける。</p>
--	---

	<p>アナウンス終了15秒後に、射場長は“NEXT SERIES... READY (ネクスト シリーズ... レディー)”と号令をかける。15秒後、射場長は“ATTENTION (アテンション)”の号令をかける。</p> <p>この手順をすべてのファイナリストが4シリーズを撃ち終えるまで続ける。</p> <p>第4シリーズ終了後そして8位に同点がなければ、射場長は“STOP (ストップ)”の号令をかける。</p>
--	---

<p>m) 故障 (8.9.2)</p>	<p>試射中の故障については申告も完射もできない。ファイナルを通じて本射中には1回のみ故障（許容できる故障であろうが許容できない故障であろうが）を申告できる。本射中に故障が発生した場合、射場役員はその故障が許容できるものか許容できないものかを確認しなければならない。許容できる故障ならば、選手はそのシリーズを、他のファイナリストを待たせて、即座に完射しなければならない。選手はシリーズ完射の準備のために15秒与えられる。これ以外の故障に対して完射は許されず、表示されたヒット数が加算される。</p>
------------------------------	---

<p>m) 故障 (8.9.1)</p>	<p>試射中の故障については申告も完射もできない。ファイナルを通じて本射中には1回のみ故障（許容できる故障であろうが許容できない故障であろうが）を申告できる。本射中に故障が発生した場合、射場役員はその故障が許容できるものか許容できないものかを確認しなければならない。許容できる故障ならば、選手はそのシリーズを、他のファイナリストを待たせて、即座に完射しなければならない。選手はシリーズ完射の準備のために15秒与えられる。これ以外の故障に対して完射は許されず、表示されたヒット数が加算される。</p>
------------------------------	---

6.18 書類様式

6.19 ISSFドレスコード

6.18 別紙2を挿入

6.19 書類様式

6.20 ISSFドレスコード

6.20 索引

10mエアライフルー標的

10m屋内射場

・
・
・

参加身分および制限

式典ー選手の出席

試射

・
・

得点の抗議ー電子標的：2点の減点

時計ー射場内

ドレスコード

ドレスコードー禁止アイテム

残り時間

・
・

ファイナルーすべてのファイナル標的の故障ー25m種目

ファイナルーセフティフラッグ

ファイナルー待機場所への出頭

・
・

耳の保護

迷彩生地

明白な反則

・
・

用具と競技用服装

様式

予選種目

・
・

6.3.4.3

6.4.3.3.c

6.6.1.3

6.19.2.4

6.11.1.1

6.16.5.2.c

6.4.3.5

6.7.5 / 6.19

6.19.3

6.11.1.2.e

6.10.9

6.17.1.13.m

6.17.1.3

6.2.5

6.19.10

6.12.6.1.a

6.7

6.18

6.6.6.1

6.21 索引

10mエアライフルー標的

10mエアライフル／ピストルミックスチーム種目

10m屋内射場

・
・

参加身分および制限

式典ー選手の出席

試射

・
・

得点の抗議ー電子標的：2点の減点

時計ー射場内

ドレスコード

ドレスコードー禁止アイテム

残り時間

・
・

ファイナルーすべてのファイナル標的の故障ー25m種目

ファイナルーセフティフラッグ

ファイナルー待機場所への出頭

・
・

耳の保護

迷彩生地

明白な反則

・
・

用具と競技用服装

様式

予選種目

・
・

6.3.4.3

6.18

6.4.3.3.c

6.6.1.3

6.20.2.4

6.11.1.1

6.16.5.2.c

6.4.3.5

6.7.5 / 6.20

6.20.3

6.11.1.2.e

6.10.9

6.17.1.13.m/6.2.2.2.a

6.17.1.3

6.2.5

6.20.10

6.12.6.1.a

6.7

6.19

6.6.6.1

7.4.4.2 ライフル規格表

K	バットプレートをオフセットする場合の銃床後部の中心線からバットプレート最外端までの距離。(バットプレートの軸は垂直でなければならない。7.4.2.1)	30mm	30mm
---	---	------	------

L	引き金の重さ	1500g	制限なし
---	--------	-------	------

7.4.5 50mライフルの規格

すべての口径5.6mm(22口径)のリムファイアロングライフル弾仕様の薬室を持つライフルが認められる。

- 男子用のライフルの重量は、パームレストやハンドストップを含むすべての使用するアクセサリ類を装着した状態で8kgを超えてはならない。
- 女子用のライフルの重量は、パームレストやハンドストップを含むすべての使用するアクセサリ類を装着した状態で6.5kgを超えてはならない。

7.5.3 射撃靴

日常生活で用いるような靴またはライトスポーツシューズを使うことは、どの姿勢においても、許される。10m種目および50m三姿勢種目において、次の制限を超えない射撃シューズをはくことは許される。射撃シューズはライフルの伏射種目でははくことはできない。

7.7 ライフル種目

ライフル種目表 7.9 参照のこと

7.4.4.2 ライフル規格表

K	バットプレートをオフセットする場合の銃床後部の中心線からバットプレート最外端までの距離。(7.4.2.1)	30mm	30mm
---	---	------	------

L	引き金の重さ (最小値)	1500g	制限なし
---	--------------	-------	------

7.4.5 50mライフルの規格

すべての口径5.6mm(22口径)のリムファイアロングライフル弾仕様の薬室を持つライフルが認められる。

- 男子および女子用のライフルの重量は、パームレストやハンドストップを含むすべての使用するアクセサリ類を装着した状態で8kgを超えてはならない。
- を削除し、以下順次アルファベットを変更

7.5.3 射撃靴

日常生活で用いるような靴またはライトスポーツシューズを使うことは、どの姿勢においても、許される。10m種目および50mと300m三姿勢種目において、次の制限を超えない射撃シューズをはくことは許される。射撃シューズはライフルの伏射種目でははくことはできない。

7.7 ライフル種目

GTRの始めの部分にあるISSF承認射撃種目およびライフル種目本選表 7.7.4 参照のこと

※7.7.4 ライフル種目一覧表(ISSF)

種目	男/女	弾数	本射撃ち込み数 (紙標的)		試射の数 (紙標的)	競技時間： 監的または 標的キャリア (紙標的)	競技時間： 電子標的
			G1, G2, G3+	G3, G4			
10mエア ライフル	男 女	60 40	1		4	1時間30分 60分	1時間15分 50分
50m ライフル 3姿勢	男	120	1		各姿勢4	3時間15分	2時間45分
50m ライフル 3姿勢	女	60	1		各姿勢4	2時間	1時間45分
50m ライフル伏射	男 女	60 60	1		4	1時間	50分
300m ライフル3姿勢	男	120	10		各姿勢1	3時間30分	3時間
300m ライフル3姿勢	女	60	10		各姿勢1	2時間15分	2時間
300m ライフル伏射	男 女	60 60	10		1	1時間15分	1時間
300m スタンダード ライフル3姿勢	男	60	10		各姿勢1	2時間15分	2時間

国内適用規定参照

注1：15分間の準備および試射時間は印刷された競技開始時刻の前に始められなければならない。
注2：表中のG1～G4の表記は、公認競技会の格付規程による。

※7.7.4 ライフル種目本選表(ISSF)

種目	男/女	弾数	本射撃ち込み数 (紙標的)		試射の数 (紙標的)	監競技時間： 監的または 標的キャリア (紙標的)	競技時間： 電子標的
			G1, G2, G3+	G3, G4			
10mエア ライフル	男 女	60	1		4	1時間30分	1時間15分
10m ミックス チーム	男女	2× 40	1		4	1時間	50分
50m ライフル 3姿勢	男 女	120	1		各姿勢4	3時間15分	2時間45分
50m ライフル伏射	男 女	60	1		4	1時間	50分
300m ライフル3姿勢	男 女	120	10		各姿勢1	3時間30分	3時間
300m ライフル伏射	男 女	60	10		1	1時間15分	1時間
300m スタンダード ライフル3姿勢	男	60	1		各姿勢1	2時間15分	2時間

国内適用規定参照

注1：15分間の準備および試射時間は印刷された競技開始時刻の前に始められなければならない。
注2：表中のG1～G4の表記は、公認競技会の格付規程による。

※7.7.5 ライフル規格一覧表（国内適用を含む）

種類	最大重量	引き金	最大銃身／システム長	弾薬	サムホール サムレスト パームレスト ヒールレスト 水準器
10m エアライフル	5.5kg (男/女)	セツトリガーは禁止	850mm (システム)	4.5mm (.177口径)	使用できない
50m ライフル	8.0kg (男) 6.5kg (女)	制限なし	制限なし	5.6mm (.22口径) ロングライフル	使用可
300m ライフル	8.0kg (男) 6.5kg (女)	制限なし	制限なし	最大8mm	使用可

※7.7.5 ライフル規格表（国内適用を含む）

種類	最大重量	引き金	最大銃身／システム長	弾薬	サムホール サムレスト パームレスト ヒールレスト 水準器
10m エアライフル	5.5kg (男/女)	セツトリガーは禁止	850mm (システム)	4.5mm (.177口径)	使用できない
50m ライフル	8.0kg (男/女)	制限なし	制限なし	5.6mm (.22口径) ロングライフル	使用可 パームレストは 立射のみ
300m ライフル	8.0kg (男/女)	制限なし	制限なし	最大8mm	使用可 パームレストは 立射のみ

7.8 索引

ライフル共通規格
 ライフル種目一種目表 7.7.4 参照
 ライフルの通則

7.4.1
 7.7
 7.1

7.8 索引

ライフル共通規格
 ライフル種目一種目**本選**表 7.7.4 参照
 ライフルの通則

7.4.1
 7.7
 7.1

<p>8.7.5 ピストル種目 8.11 ピストル種目表を参照</p>	<p>8.7.5 ピストル種目 GTRの始めの部分にあるISSF承認射撃種目および 8.11 ピストル種目本選表を参照</p>
<p>8.7.6.2 25m種目の特別ルール d) 選手が“LOAD (ロード)”の号令で、ピストルに装填が許された弾数(シリーズまたは完射シリーズの)を越える弾を込めた、または2個以上の弾倉に弾を込めた場合、そのシリーズの得点に、超過した弾1発につき、または超過した弾倉1個につき2点の減点が科せられなければならない。</p>	<p>8.7.6.2 25m種目の特別ルール d) 選手が本選において、“LOAD (ロード)”の号令で、ピストルに装填が許された弾数(シリーズまたは完射シリーズの)を越える弾を込めた、または2個以上の弾倉に弾を込めた場合、そのシリーズの得点に、超過した弾1発につき、または超過した弾倉1個につき2点の減点が科せられなければならない。選手が練習時にこのルールに違反した場合、その選手には抜弾とセフティフラッグの挿入、練習の中止が指示されなければならない。</p>
<p>8.7.6.4 25mピストルおよび25mセンターファイアピストルの特別ルール d) 射撃は適切な号令または信号によって開始される。</p>	<p>8.7.6.4 25mピストルおよび25mセンターファイアピストルの特別ルール d) 射撃は適切な号令または信号によって開始される。静止標的に対しては“START (スタート)”の号令またはホーンの合図と“STOP (ストップ)”の号令またはホーンの合図、回転標的では標的が正面を向いた時と側面を向いた時、ESTでは緑ランプの点灯と赤ランプの点灯となる。</p>
<p>8.7.6.5 25mスタンダードピストルの特別ルール</p>	<p>8.7.6.5 25mスタンダードピストルの特別ルール g) 試射または本射のシリーズの終わりに“UNLOAD (アンロード)”の号令がかけられた後、次のシリーズの開始にかけられる“LOAD (ロード)”前に1分間の休止をとらなければならない。を挿入、以下アルファベットを繰り返す</p>
<p>8.8.2.1 超過弾(25m) 選手が標的上にピストル種目一覧表(8.11)の規程弾数以上を撃った場合、または、速射ステージで1回の標的の出現に2発以上射撃した場合、その標的上の最高得点から順に無効として、採点されなければならない。</p>	<p>8.8.2.1 超過弾(25m) 選手が標的上にピストル種目本選表(8.11)の規程弾数以上を撃った場合、または、速射ステージで1回の標的の出現に2発以上射撃した場合、その標的上の最高得点から順に無効として、採点されなければならない。</p>

8.8.2.2 **試射における超過弾（25m）**
選手がピストル種目一覧表（8.11）で規定された以上の試射弾を撃った場合、または、射場役員あるいはジュリーによって承認されている以上の試射弾を発射した場合、超過弾1発につき2点の減点が本射の第1シリーズの得点にペナルティとして科せられなければならない。このペナルティは選手が5発を超える弾数を装填したことによる2点の減点に追加して科せられる。

8.9.4.5 **許容できる故障に対する手順－25mラピッドファイアピストルと25mスタンダードピストル**
d) 5発の合計点をそのシリーズの得点として決定し、故障採点票の3番目の行（最終得点）に記録する。
・RFPM：各標的上の最も低い点数の合計
・STDP：標的上の最も低い点数から5発の合計

8.14	索引	
	・	
	・	
	・	
	ピストルサポートスタンド	8.6.3
	ピストル種目：ピストル種目一覧表参照	8.11
	ピストルの共通規格	8.4.1

8.8.2.2 **試射における超過弾（25m）**
選手がピストル種目**本選**表（8.11）で規定された以上の試射弾を撃った場合、または、射場役員あるいはジュリーによって承認されている以上の試射弾を発射した場合、超過弾1発につき2点の減点が本射の第1シリーズの得点にペナルティとして科せられなければならない。このペナルティは選手が5発を超える弾数を装填したことによる2点の減点に追加して科せられる。

8.9.4.5 **許容できる故障に対する手順－25mラピッドファイアピストルと25mスタンダードピストル**
d) 5発の合計点をそのシリーズの得点として決定し、故障採点票の3番目の行（最終得点）に記録する。
・RFPM：各標的上の最も低い点数の合計**を記入する。**
・STDP：**0点を含む全本射弾のうち**最も低い点数から5発の合計**を記入する。**

8.14	索引	
	・	
	・	
	・	
	ピストルサポートスタンド	8.6.3
	ピストル種目：ピストル種目 本選 表参照	8.11
	ピストルの共通規格	8.4.1
	・	
	・	

※8.11 ピistol種目一覧表 (ISSF)

種目	男 ／ 女	発 射 弾 数	1枚の標的への 撃ち込み数 (紙標的のみ)		紙 標 的 の 試 射 的 数	試 射 弾 数	採 点 お よ び 紙 標 的 の 治 痕	時 間 制 限 (E S T 以 外)	準 備 お よ び 試 射 時 間
			G1, G2, G3+	G3, G4					
10m エア ピistol	男 女	60 40	1		4	無制限 準備 および 試射 時間内	RTS 室にて	1時間15分 (1時間30分) 50分 (60分)	15分間
50m ピistol	男	60	5		2	無制限 準備 および 試射 時間内	RTS 室にて	1時間30分 (1時間45分)	15分間
25m ラピッド ファイア ピistol	男	60	1 各選手 各ステージに 新標的 (1+6発毎)		5	各ステージ において 8秒射 5発 1シリーズ	各シリ ーズ の後	8秒射、6秒射、 4秒射各2回の 5発シリーズの 合計30発の ステージを2回	3分間
25m ピistol	女	60	15		1	各ステージ に お い て 5 発 1 シ リ ー ズ	各シリ ーズ の 後	精密ステージ 5分間で5発シリ ーズを6回の 合計30発 速射ステージ 速射で5発シリ ーズを6回の合 計30発	精密 ステージ 5分間 速射 ステージ 3分間
25m センター ファイア ピistol	男	60	10						
25m スタン ダード ピistol	男	60	10	150秒射 の 5発1シリ ーズ					

注1：表中のG1～G4の表記は、公認競技会の格付規程による。

※8.11 ピistol種目本選一覧表 (ISSF)

種目	男 ／ 女	発 射 弾 数	1枚の標的への 撃ち込み数 (紙標的のみ)		紙 標 的 の 試 射 的 数	試 射 弾 数	採 点 お よ び 紙 標 的 の 治 痕	時 間 制 限 (E S T 以 外)	準 備 お よ び 試 射 時 間	
			G1, G2, G3+	G3, G4						
10m エア ピistol	男 女	60	1		国内 適 用 規 定 参 照	4	無制限 準備 および 試射 時間内	RTS室に て	1時間15分 (1時間30分)	15分間
10m ミックス チーム	男 女	2x 40	1			4	無制限 準備 および 試射 時間内	RTS室に て	50分 (60分)	10分
50m ピistol	男	60	5			2	無制限 準備 および 試射 時間内	RTS室に て	1時間30分 (1時間45分)	15分間
25m ラピッド ファイア ピistol	男	60	1 各選手 各ステージに 新標的 (1+6発毎)			5	各ステージ において 8秒射 5発 1シリーズ	各シリ ーズ の後	8秒射、6秒射、4秒射各 2回の5発シリーズの合 計30発の ステージを2回	3分間
25m ピistol	女	60	10			1	各ステージに お い て 5 発 1 シ リ ー ズ	各シリ ーズ の 後	精密ステージ 5分間で5発シリ ーズを6回の 合計30発 速射ステージ 速射で5発シリ ーズを6回の合 計30発	精密 ステージ 5分間 速射 ステージ 3分間
25m センター ファイア ピistol	男	60	10							
25m スタン ダード ピistol	男	60	10	150秒射 の 5発1シリ ーズ						

注1：表中のG1～G4の表記は、公認競技会の格付規程による。